

厚木基地をめぐる動向

泡消火剤放出にかかる米海軍厚木航空施設への立ち入りについて

昨年9月に米海軍厚木航空施設で発生したP.F.O.S等含有泡消火剤の放出について、市は12月19日、県と綾瀬市、国とともに日米地位協定の環境補足協定に基づく二回目の立ち入りを実施し、同施設内の格納庫と調整池を視察しました。



泡消火剤放出のあった格納庫



説明を行うマニング・モンタネ大佐(右端)

格納庫では、厚木航空施設司令官マニング・モンタネ大佐から泡消火剤の放出原因や再発防止策、P.F.O.S等含有泡消火剤の保有状況などについて説明がありました。

【米側の説明内容】

- ・放出原因は、大雨による格納庫の雨漏りが泡消火設備の制御盤に浸透し、誤作動が起きた可能性が高い。
- ・再発防止策として、制御盤のスイッチオフによる誤作動防止など適切な措置をとった。
- ・他の格納庫の泡消火設備すべてを点検、確認した。
- ・引き続き安全管理を徹底する。
- ・P.F.O.S等含有泡消火剤は、2022年11月までにすべて代替品へ交換した。



格納庫床面の泡消火剤放出口。泡消火設備が作動すると泡消火剤が斜め上方へ放出される

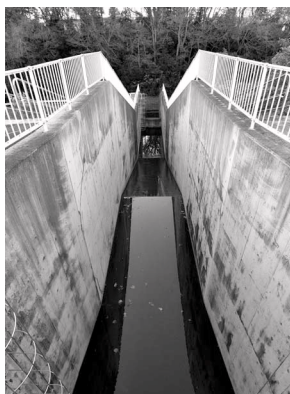


誤作動が起きた泡消火設備の制御盤

また、調整池では、調整池内の洗浄手順や、洗浄水・汚泥などのコンテナへの回収状況などについて説明があり、綾瀬地域の蓼川へつながる水門の状況などを確認しました。※掲載写真はすべて米側提供のもの。



洗浄された調整池



調整池から蓼川へつながる水門



回収されコンテナに保管された洗浄水や汚泥等。専門業者による焼却処分が順次行われているという

米海軍厚木航空施設における泡消火剤放出等の経緯

- 令和4年
- 9月24日：設備の誤作動により格納庫からP.F.O.S等含有泡消火剤が放出。排水先の調整池から混合水の一部が綾瀬地域の蓼川へ流出
 - 10月3日：大和市を含む神奈川県、地関係県市連絡協議会が外務大臣、防衛大臣に対し県内米軍基地からの相次ぐP.F.O.S等の流出に関する緊急要請を実施
 - 10月6日：大和市などが日米地位協定の環境補足協定に基づく厚木航空施設への立ち入りを実施
 - 10月7日：粒状活性炭フィルターでろ過した調整池の水を蓼川へ放流
 - 10月20日：調整池内の洗浄が完了し、調整池から蓼川への放流再開
 - 11月：保有するP.F.O.S等含有泡消火剤をすべて代替品に交換完了
 - 12月19日：大和市などが厚木航空施設への二回目の立ち入りを実施

市は引き続き国や米軍等に対し、厚木基地における各種施設の適正な維持管理や安全対策の徹底等について、大和市基地対策協議会の要請活動などを通じて求めていきます。

市役所基地対策課基地対策係
TEL (2660) 5310 FAX (2660) 5316